

白川を元気なまちに！！
～宇治茶の香りと歴史文化の里～

白川区まちづくり協議会 会長 ○石川 檜一

1. 活動方針・目的

かつて10年がかりで実施された白川金色院の発掘調査の結果、極めて良好な遺構が確認されたことを契機としてその歴史的価値を鑑み、国の文化財指定に向けての取り組みと、白川において身近に取り組むべき生活課題を、全体的にまちづくりの課題として検討していく必要があった。

そこで、自らまちづくり計画を策定する取り組みに着手することとし、その基本的視点は、里山景観が広がる山間地域である白川の住民が豊かな自然と歴史文化を次世代に伝えながら、いつまでも住み続けられるようにしていくことである。

2. 活動内容

平成19年3月 白川区まちづくり協議会設立

平成20年6月 宇治市により認定(協議会第1号)

白川区のまちづくりに関わることについて、現状把握と様々なことについて模索・検討を行い地域課題として①歴史文化遺産と景観を守り、伝統行事を未来に伝える ②伝統産業の高級宇治茶や特産品の保全と世界に広げていく ③安心して暮らせるまちづくり(道路交通問題・バス運行の利便確保等)を抱え、文化・農業講演会の開催や先進地視察・地域参加型イベント「平安ロマンの夕べ」(区民が作成した600基の万灯籠の配置)の開催や、まちづくりワークショップも行ってきた。身近なことでは、交通安全啓発運動としてタスキかけをしてのチラシ配布なども実施してきた。

3. 他の活動団体の参考となる事例

2年間にわたり地元大学文化人類学ゼミと連携してワークショップを行ったことなどで、地域の外からの視点で改めて地元の再発見ができたことや、白川の茶園を含めた里山景観が日本遺産や重要文化的景観に選定されたことで、地域住民の白川を誇りに思う意識の向上につながった。また、地域イベントの実施によって、宇治に来る観光客が足を伸ばして白川を訪れる機会が増えてきていることは大事にしなければならない。

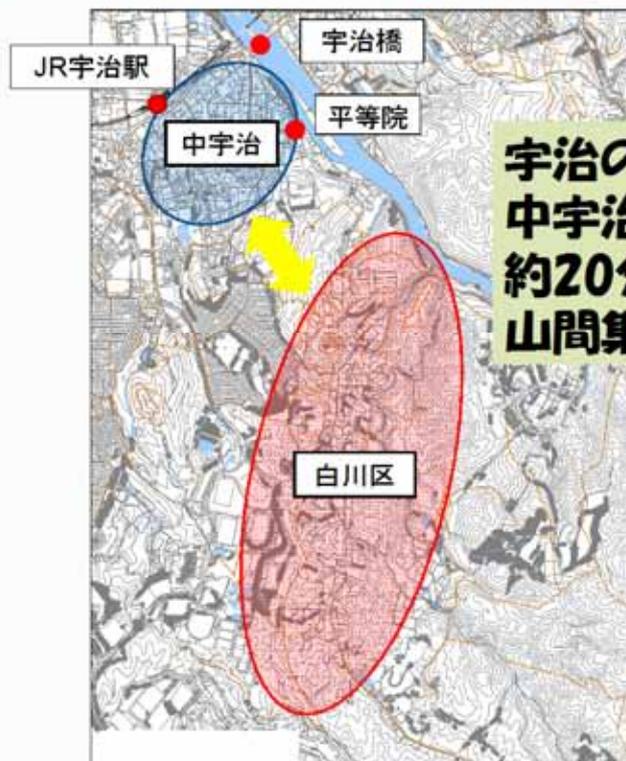
4. 今後の課題等

これからが白川のまちづくりを進める第1歩とならなくてはならない。現在策定中の「白川区地区まちづくり計画」を完成させ、行政へ提起し、地域課題に一つ一つ着手し、さらに白川の歴史文化を広く知ってもらうため情報発信することや、なんとしても住民の多くが結集してこの地を守り、発展させていく熱い思いでこれからの取り組みや活動を進めていくことが重要である。

白川区でのまちづくり活動の 取り組み

宇治市白川区まちづくり協議会
会長 石川 権一

白川ってどんなところ？



宇治の観光の中心地
中宇治地域と、徒歩で
約20分の距離にある
山間集落・白川

白川の集落の始まりと白川金色院

平成5年から10年に渡り、宇治市において行われた、『**白川金色院跡の発掘調査**』



金色院跡

平等院の奥の院

- ・ 藤原頼通の娘(後冷泉皇后)寛子が創建(1102年)
- ・ 螺鈿金色に輝く七間文殊堂があった。
- ・ 長祿4年(1460)に焼亡し再興。
- ・ 明治に廃寺。
- ・ 白川谷の南北500m、東西400mに、往時の景観と伴に遺跡が残る。
- ・ 国指定史跡級の重要な文化遺産

白川金色院跡の文化財指定に向けた取り組み

白川のまちづくりの始まり

白川の景観の価値

- ・ 景観法に基づく**宇治市景観計画重点地区**
- ・ 宇治市歴史的風致維持向上計画に基づく**重点区域**
- ・ 文化財保護法に基づく**重要文化的景観区域**
- ・ **日本遺産『宇治茶800年の歴史散歩』認定**

白川金色院跡の文化財指定の取り組み

景観の保全の取り組み

地域で大激論！

白川に将来性はあるのか・・・後継者が少ない中生き延びていけるのか・・・
高齢者に望まれる地域・・・将来を背負う若者が住みたい、住んで良かったまちづくり・・・

目標「**白川を元気なまちに！**」

白川区まちづくり協議会の活動

平成19年 白川区まちづくり協議会 設立
平成20年 宇治市認定協議会第1号

◎活動内容

先進地視察: 滋賀県米原市 京極氏庭園跡・滋賀県高島市針江地区・京都府舞鶴市
講演会: 「白川金色院の歴史について」・「文化的景観を活かした『儲かる』地域づくり」・「お茶の『聖地』をつくるー白川地区の農業とくらしの振興」
大学との連携: 京都文教大学・京都橘大学・龍谷大学⇒ワークショップの開催
奈良文化財研究所・東京大学⇒伝統的家屋調査
地域イベント: 「平安ロマンのタベ」の開催



大学と協同でマップを作成



先進地視察: 舞鶴市



平安ロマンのタベ: 万灯籠

白川のいい所・残したいもの

- ・白川金色院や白山神社、惣門などの**歴史遺産**
- ・**豊かな自然環境**と棚田や茶畑の**景観**
- ・虫干し祭や秋祭り、百味の御食などの四季折々の**伝統文化**
- ・**白川産宇治茶**
- ・古老柿やよもぎ団子などの**名産品** など



白川の景観



百味の御食



古老柿づくり

白川の課題と目標

目指していく白川の将来像

白川を元気なまちに!! ～宇治茶の香りと歴史文化の里～

メインテーマと取り組み内容

1. 歴史文化遺産と景観を守り、伝統行事を未来に伝えよう

- 白川金色院跡の文化財指定への取り組み
- 伝統文化の保存『知られざる白川の文化』
白山焼・宇治人形・画伯小野竹喬「宇治白川村」の絵



2. 伝統産業の宇治茶や特産品を世界に広げよう

- 白川茶やよもぎ団子、古老柿などの特産品の開発と販売
- 農業と茶業の後継者対策や休耕地対策
- 里山景観保全のための農小屋の整備の検討



3. 区民が安心して生活できるまちにしよう

- 市道白川浜山本線や宇治白川線を
安全に歩ける道にする。
- 災害時の避難場所の確保



4. 高齢者と子供たち、若い者も健康で楽しく暮らせるまちにしよう

- 高齢者が集まれる場づくりへの協力や支援を推進
- 子供たち、若い者が希望の持てる環境づくりや子育て支援、青少年の健全育成への取り組み
- 高齢者施設との交流を進める。
デイサービス事業のバスを白川の高齢者も
一緒に利用 **平安ロマン号**



5. ホタルやサワガニが棲める自然環境を育てよう

- 白川の環境に配慮して、砂利採取や資材置き場の設置に対するルールづくりに取り組む。
- ホタルやサワガニが棲めるような寺川の復活に取り組む。

6. 白川の良さを多くの人に見てもらえる場所と仕組みをつくろう

- 中宇治地域から白川に歩いて観光できるルートの検討
- 白川を訪れる観光客をおもてなしできる場所と仕組みづくりに取り組む。



これまでの課題と目標をまとめた、白川のまちづくりの方針

白川区地区まちづくり計画の策定に取り組み中

- ・白川区臨時総会で計画への同意が得られた。
- ・計画の市認定に必要な、住民及び地権者等の同意取得活動

ご清聴ありがとうございました。